



2021年
5月号

風の子便り

社会福祉法人のゆり会 たかさご保育園

<http://www.takasago-hoikuen.com>

さわやかな風に乗って、園庭の鯉のぼりが
気持ちよさそうに泳いでいます。
その下では悠々と泳ぐ鯉を追いかけ
子ども達が楽しそうに遊んでいます。
子ども達の笑顔、笑い声は何にも代えがたい宝物です。

大人は誰しも、子ども達が幸せになって欲しいと考えていま
す。そして「できない事」「苦手なこと」を少しでも失くす為
に、それをやらせる事、克服させてあげる事が将来の為と考
えがちです。

しかし、「できない事」ではなく、子どもの「やりたい事」、その
気持ちを大切にしたいと思っています。時間や場所に制約が
あったり大人の心のゆとりがなかったり、そうやすやすとはさ
せてあげられないかもしれません。

遠回りかもしれませんが、「できない事」からはじめるのではな
く、まず「やりたい事」からはじめて「たのしい～」「なんでだろ
～?」「できた!」「またやりたい!」そんな子どもの自信や意欲
を育み、土台作りをすることが「できない事をやってみよう～」と
思える力を蓄える道筋と考え、保育園では取り組んでいると
ころです。

乳幼児のこの時期「子どものやりたい気持ち」をたくさん実現
させてあげたいと思います。



お誕生日おめでとう

1才おめでとう	とあくん
2才おめでとう	あんなちゃん そらくん けいたくん はるせくん
3才おめでとう	さらちゃん じんくん ことなちゃん
4才おめでとう	りんかちゃん
5才おめでとう	あんちゃん のぞみちゃん
6才おめでとう	せいたくん りんこちゃん

5月の予定

1	土	
2	日	
3	月	憲法記念日
4	火	みどりの日
5	水	こどもの日
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	ちゅっちゅこっこの会
11	火	0才児健診
12	水	
13	木	
14	金	幼児誕生会 防犯訓練
15	土	171災害伝言板
16	日	
17	月	乳児誕生会 ちゅっちゅこっこの会
18	火	
19	水	
20	木	
21	金	PPD
22	土	
23	日	
24	月	ちゅっちゅこっこの会
25	火	0才児健診 防災訓練(引取りカード提示)
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	ちゅっちゅこっこの会



※なかよし広場は休会となります。今暫くお待ちください
(予定は変更になる場合もあります)

りす組(3才児)です こんにちは

1階での生活になり、1か月がたちました。ひつじ組、ぞう組さんとの生活や遊びに、沢山の刺激を受けながら、新しい生活にも馴染んできた子ども達です。体つきも幼児さんらしくなり、体力もついてきて、運動量も増えています。

進級したばかりのころは、緊張で職員の傍から離れられない子もいましたが、今では目をキラキラさせながら園庭に飛び出していき、ひつじ組さんが虫かごに入れている幼虫を「みせて」と覗き込み、アスレチックのブランコを力持ちのぞう組さんに押してもらう姿もあります。りす組の子が困っていると、「どうしたの??」とやさしいお兄さんお姉さんに助けてもらうこともあります。

お兄さんお姉さん達から沢山の、優しさを受け、生活や遊びの中での憧れの姿を追いかけながら、りす組の子ども達が心も身体も大きくなっていく姿を、これからもお伝えしていけたらと思います。

こどものつぶやき ひつじ組(4才児)

木の枝に絡まっている、こいのぼりを心配して…

A君 「かわいそうに…」

B君 「Aくん、どうしたの？」

A君 「だって、ほらみて、しっぽがからまって
いたそうだよ」

その時、少し吹いた風でこいのぼりが揺れました。

A君 「あっ！ かせがいっぱいふけば
たすけられるね」

B君 「うん！ そうだね。がんばれ～！」
そこに他の友だちが来て、説明する二人。

A君B君

「がんばれ～！ がんばれ～！ あっ…あとちよつと。」

A君 「せ～の」

そしてみんなで

「がんばれ～！ がんばれ～！」

お友だちの気持ちに共感し一緒に応援する子ども達の
優しい気持ちに嬉しくなります。



こいのぼりを作りました

お庭を泳いでいるこいのぼりを、2Fのベランダやお庭から眺めて喜んでいる乳児クラスの子も達…
”やねより～たかい～こいのぼり～”の歌に合わせて、
風に泳ぐこいのぼりと一緒に身体を揺らして気持ちよさ
そうです。

2～5歳児の子ども達は、5月の端午の節句に向けて、「こいのぼり」を作りました。この時期には、毎年年齢にあわせ、可愛らしいこいのぼりが完成します。

子ども達も、自分で作ったこいのぼりには愛着があり、お迎えに来るお家の方に自慢げに見せている姿が又愛らしいです。連休にはお家に可愛らしい鯉のぼりも飾っていただけたのではないのでしょうか。子ども達の誇らしい顔が目に見えます。

子ども達も鯉のようにすくすく育ってくれることを祈ります。



天高くおよげ～！



この次は…
どれをはろうかなあ～！？

ちゅっちゅこっこってなあに

毎週(月)に講師の(兼子)耐子おばちゃんが来園し、ひよこ2組からぞう組まで、各クラスを巡回してわらべ唄を行っています。現在はコロナウイルス対策で、乳幼児隔週、全クラス2～3グループに分けて実施しています。

わらべ唄はもともと庶民に文字のない時代に、人としてよりよく生きていく為の様々な方法を、唄に託して伝承されてきました。一番大切にしている事は「目と目を合わせる」事です。おっぱいを飲ませるときのそれです。おむつ交換、赤ちゃん体操等の生活の場面。又、「おつむてんてん」等のあそびで、目と目を合わせ、コミュニケーションの原点を学びます。

又、幼児になり「べつたらべつたん」ではお手玉を「どうぞ」「ありがとう」とわたす時、目を合わせて挨拶を交わします。遊びを通して人との関わりや挨拶の大切さを身につけていくのは同じです。そして、子ども達だけでなく私達職員も一緒に学びつつ、楽しんでいます。

たかさごの教育(言葉)0才児 第2回

ご家庭から離れ新しい生活が始まりました。私たちは一人ひとりの子どもと丁寧に向き合い、基本的信頼関係を作っていくことから進めていきます。

子どもたちは人の声に最もよく反応し、話しかける大人の顔をじっと見つめ、身近な大人にあやしてもらったり、自分の声や動きに優しく応えるやりとりを通して愛着が生まれ、安心につながっていきます。子どもが発する「あ～」「う～」などの声に、同じような声のトーンで「あ～う～ってお話してくれてるのね」と言葉で応え、子どもの泣き声や姿に合わせ、「抱っこして欲しいのね」「お腹すいたのかなあ～?」「嬉しいね、楽しいね」とゆつたりと笑顔や言葉を添えて応える事で、子どもたちは自分の欲求や感情を泣き声で表現してもよいという自己肯定感が育ちます。この泣き声こそが、言葉にならない言葉です。

私たち保育者は、その子どもたち一人ひとりの気持ちに丁寧に寄り添い、まずはしっかり子どもから泣いて気持ち(言葉)を伝える関係を作り、そして、人を信じてよいんだという他者信頼感も育てたいと願っています。